

「清流の国ぎふ森林・環境税」に関するアンケート調査

恵みの森づくり推進課

1 調査目的

「清流の国ぎふ森林・環境税」(以下「県森林・環境税」という。)に対する県民の皆さんの意識を把握し、今後の森林・環境施策の基礎資料とさせていただくために、ご意見などを伺いました。

2 調査対象等

調査対象: 県政モニター 505人

調査方法: インターネット

調査期間: 令和2年10月8日～10月26日

回収結果: 235人(回収率: 46.5%)

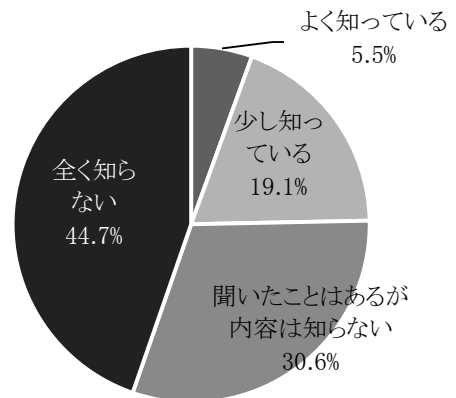
構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。

そのため、合計が100%にならない場合があります。

3 結果概要

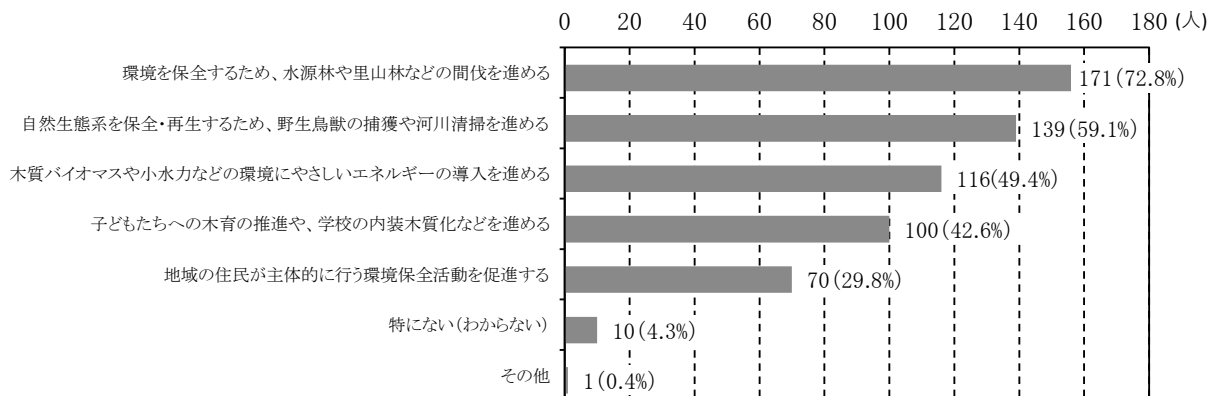
○ 県森林・環境税の認知度について

「県森林・環境税」の認知度は、55.2%（「よく知っている」「少し知っている」「聞いたことはあるが内容は知らない」の合計）となっている。一方、「全く知らない」は44.7%となっている。



○ 県森林・環境税の使いみちについて

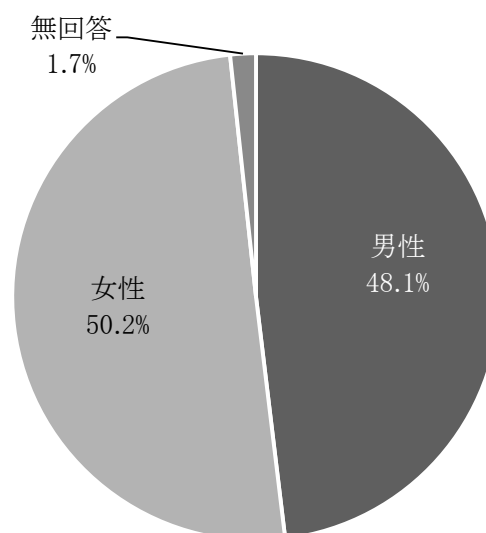
「県森林・環境税を活用した取組み」について、引き続き最も県で取り組んでほしいものは「環境を保全するため、水源林や里山林などの間伐を進める」が72.8%、次いで「自然生態系を保全・再生するため、野生鳥獣の捕獲や河川清掃を進める」が59.1%となっている。



4 回答者属性

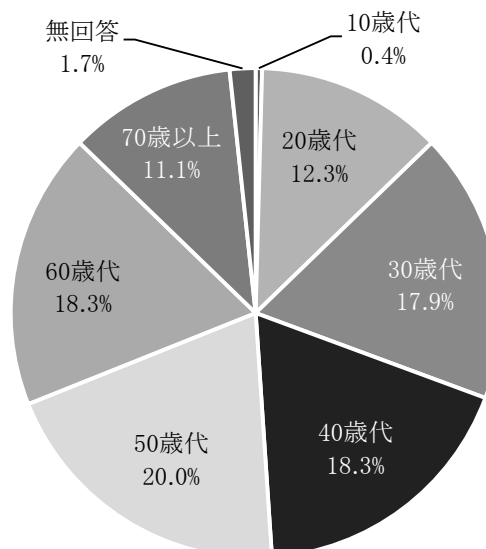
(1) 性別

	人数	割合
男性	113	48.1%
女性	118	50.2%
無回答	4	1.7%
計	235	100.0%



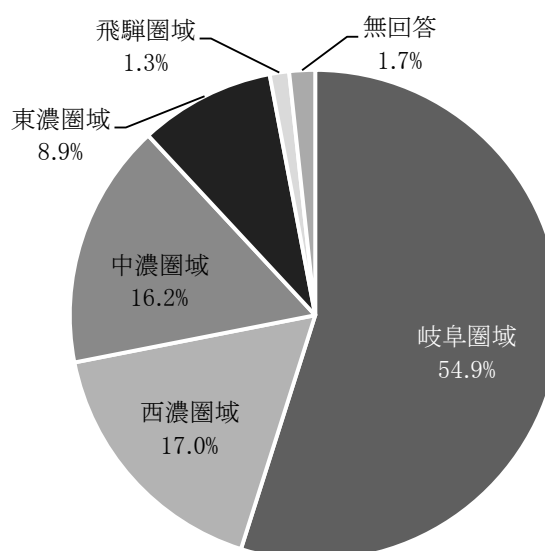
(2) 年代別

	人数	割合
10歳代	1	0.4%
20歳代	29	12.3%
30歳代	42	17.9%
40歳代	43	18.3%
50歳代	47	20.0%
60歳代	43	18.3%
70歳以上	26	11.1%
無回答	4	1.7%
計	235	100.0%



(3) 居住圏域別

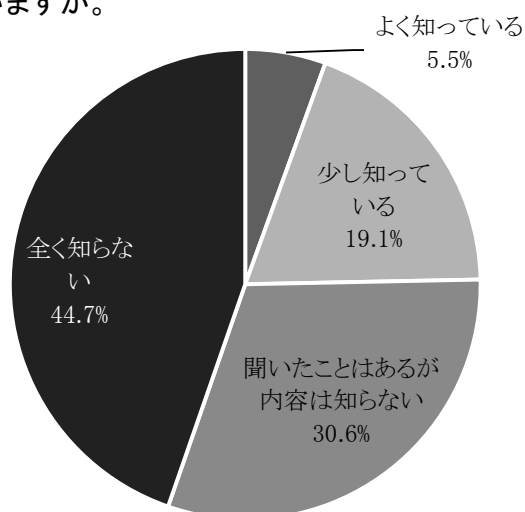
	人数	割合
岐阜圏域	129	54.9%
西濃圏域	40	17.0%
中濃圏域	38	16.2%
東濃圏域	21	8.9%
飛騨圏域	3	1.3%
無回答	4	1.7%
計	235	100.0%



5 調査結果

問1 あなたは、県森林・環境税について知っていますか。

	人数	割合
よく知っている	13	5.5%
少し知っている	45	19.1%
聞いたことはあるが内容は知らない	72	30.6%
全く知らない	105	44.7%
計	235	100.0%

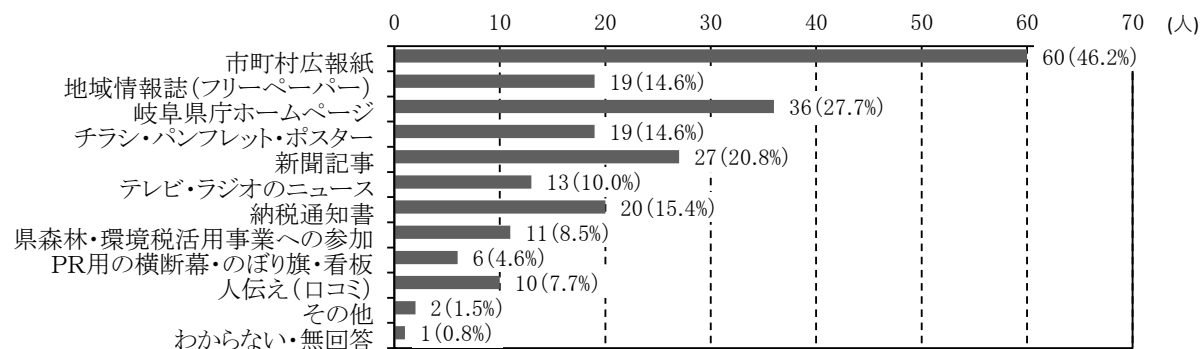


(問1で「よく知っている」「少し知っている」「聞いたことはあるが内容は知らない」と答えた方)

問2 あなたが、これまでに県森林・環境税について見たり聞いたりしたことのある媒体について、次の中からあてはまるものをすべてあげてください。

(複数回答) 回答者 130 人

	回答数	割合
市町村広報紙	60	46.2%
地域情報誌(フリーペーパー)	19	14.6%
岐阜県庁ホームページ	36	27.7%
チラシ・パンフレット・ポスター	19	14.6%
新聞記事	27	20.8%
テレビ・ラジオのニュース	13	10.0%
納税通知書	20	15.4%
県森林・環境税活用事業への参加	11	8.5%
PR用の横断幕・のぼり旗・看板	6	4.6%
人伝え(口コミ)	10	7.7%
その他	2	1.5%
わからない・無回答	1	0.8%
計	224	-

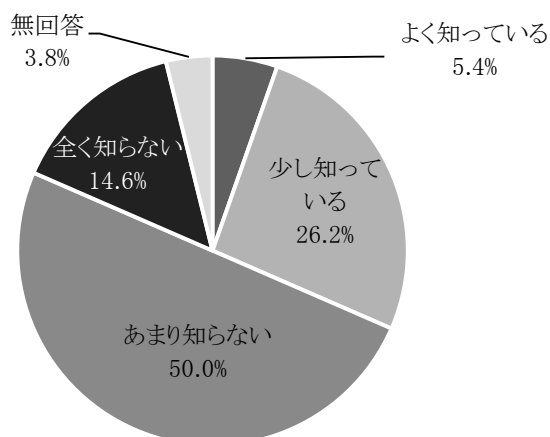


【その他】 確定申告、インターネット

(問1で「よく知っている」「少し知っている」「聞いたことはあるが内容は知らない」と答えた方)

問3 あなたは県森林・環境税の使いみちをご存じですか？

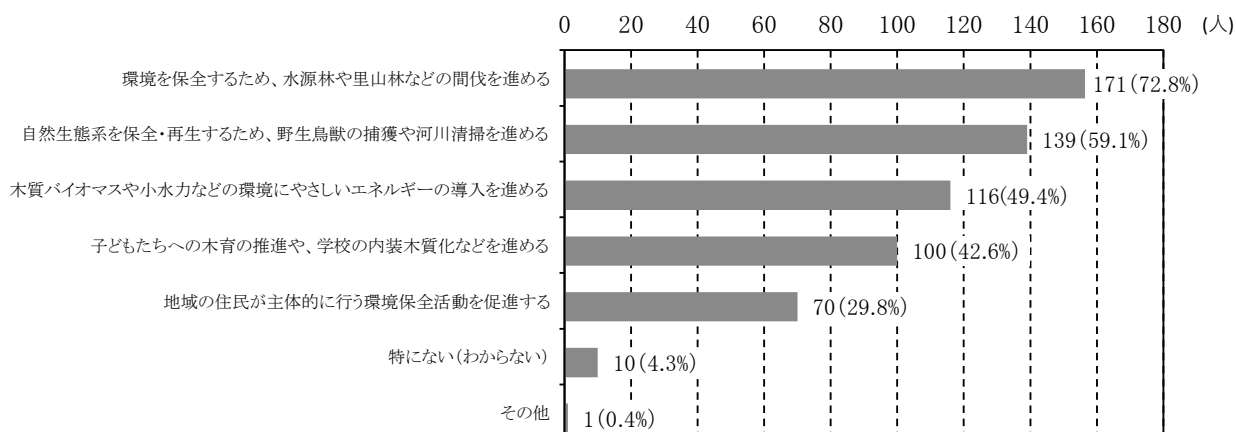
	人数	割合
よく知っている	7	5.4%
少し知っている	34	26.2%
あまり知らない	65	50.0%
全く知らない	19	14.6%
無回答	5	3.8%
計	130	100.0%



問4 県森林・環境税は、現在、森林づくりや、川づくり、水環境の保全などに関する取組みに活用されています。このような取組みの中で、あなたが引き続き県で取り組んでほしいと思うものについて、次の中からあてはまるものを3つまであげてください。

(複数回答) 回答者 235 人

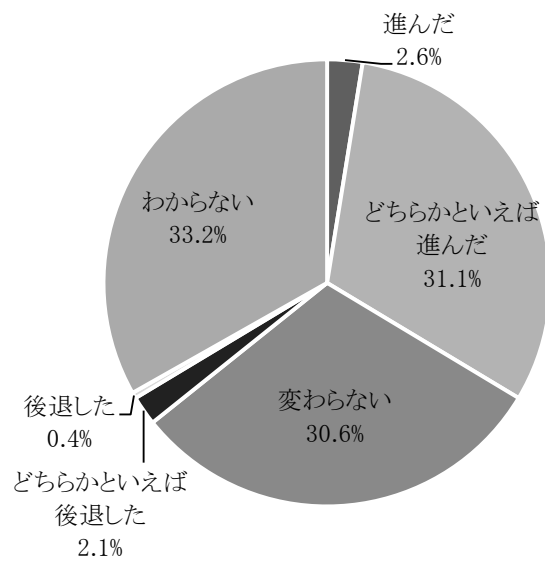
	回答数	割合
環境を保全するため、水源林や里山林などの間伐を進める	171	72.8%
自然生態系を保全・再生するため、野生鳥獣の捕獲や河川清掃を進める	139	59.1%
木質バイオマスや小水力などの環境にやさしいエネルギーの導入を進める	116	49.4%
子どもたちへの木育の推進や、学校の内装木質化などを進める	100	42.6%
地域の住民が主体的に行う環境保全活動を促進する	70	29.8%
特にない(わからない)	10	4.3%
その他	1	0.4%
計	607	—



【その他】 環境関連や林業の人材育成、木など自然なものを使った遊びの場を増やす 等

問5 近年、森林や川、水環境、生物多様性、自然環境に関する県の施策は進んだと感じますか。

	人数	割合
進んだ	6	2.6%
どちらかといえば進んだ	73	31.1%
変わらない	72	30.6%
どちらかといえば後退した	5	2.1%
後退した	1	0.4%
わからない	78	33.2%
計	235	100.0%



問6 その他、森林や自然環境に関する県の施策に対して、ご意見などがございましたら、お聞かせください。

【主な意見】

(広報について)

- 何を達成しどんな効果が得られたかのアピールを分かりやすく県民に知らせてほしい。
- 県森林・環境税に対する県民の皆さんの意識を向上させるために、地域(市)でセミナーや説明会を開催したらどうか。
- 納税していることは認知しているが、例えば、「この取り組みは県森林・環境税により整備されたもの(購入されたもの)です」等、何か納税していることの実感が分かるものがあると払った甲斐がある気がする。

(問題提起)

- 居住地付近の山を手入れすることから始めると、住民(すなわち県民)に活動の実態が見られ、活動が理解されていくのではないか。
- 岐阜県は清流の国、木の国、山の国だと思うが、県民の、特に若い方の、その意識が低いように感じる。

(使途について)

- 水源を守ってほしい。
- 名古屋や大阪等、都会の家族が参加できる里山プロジェクトをつくり、森林伐採ツアーや遊歩道整備ツアー等、二泊三日位の体験型催しを定期的で開催して、岐阜に興味をもってもらって、第2のふるさとにしてもらってほしい。住民の高齢化が進んでいる対策にも移住促進と組み合わせてアピールしてほしい。
- 水力発電や木を活用した遊び場(木育の推進)づくり、鮎パークなどの取り組みがなされ、頼もしく思っている。
- 治水、観光の為にも、森林、自然環境の整備にもっと力を入れてほしい。
- 行政が将来に向けて、現在の岐阜県の豊かな自然の維持を真剣に考えるのであれば、この施策の活動を積極的に推進することが大切だと思う。
- カワゲラウォッチングの体験学習に参加したことがある。子どもにつきあうつもりで参加したが、体験を通じて、絶滅危惧種の存在を知ることができたし、岐阜市の自然が豊かであることを体感できた。川が水を浄化している実際に体験することもできた。体験型の企画を増やしていただきたいし、募集の際にも、どんな体験ができて、その体験がどのような意味をもっているのかを紹介することが必要だと思っている。
- 木育という言葉は岐阜県のイベントを通して知った。自然を守る事は未来にとって大事で心を豊かにすることでもあると思うので、ぜひ推進していただきたいと思う。
- 私有地の山を持っている人の森林間伐や整備について県からの指導を強化してほしい。

(その他)

- 森林、自然を守ることに異論を唱える方はいないと思う。しかしながら、平日頃、生活圏に自然を感じることができない地域に住んでいると(私は岐阜駅周辺在住)身近な話になっていない。ただ、森や山が水を清らかにし、豊かな農作物を育てているので、本来は自身の問題として捉えなくてはならないはず。この問題こそ、映像で県民に訴求すれば伝わるのではないかと考える。
- 森林は数世代にわたり本物が形成される。息の長い取り組みをお願いする。
- 木育館がオープンしたので一度見学に行ってきたと思っている。これからの子どもの木育で一步前進したと思う。